

議会のひろば

Okaya City Assembly News

July 25, 2025

特集

2つの特別委員会は、
各事業に
積極的に関わっていきます！

p.8

p.9

岡谷市議会
新体制でスタート！

p.2

p.3

岡谷市議会新体制でスタート!

市議会は、令和7年5月13日・14日の二日間にわたり、令和7年第2回臨時会を開催しました。正副議長の選挙、常任委員会、各種委員会等の正副委員長選出などが行われ、新体制になりました。新体制のもと、6月には第3回定例会が行われ、各種議案の審議等を行いました。(議案の審議等については14P以降)



議長
吉田 浩

議長職を拝命し、身の引き締まる思いです。堅実な議会運営を基本としつつ、時代の変化に対応した活発な議会改革を推進し、市民の皆様信頼される開かれた議会を目指してまいります。岡谷市の未来のため、市民の声をしっかりと受け止め、二代表制の一翼を担う議会の重要な役割を再認識し、全力で取り組んでまいります。

副議長
山崎 仁



議員のマニフェスト(公約)の達成率
明確化に努めます。

監査委員
今井 康善



公正中立な監査と
議会監視機能の
強化を図ります。

定例会の日程や本会議の進行手順、議会に関するルールなど議会運営全般について協議や意見調整を行っています。また、議長の諮問機関としての役割もあります。岡谷市議会のスムーズな運営に全力を尽くしてまいります。

議会運営委員会



早出すみ子

中島 秀明

小松 壮

委員長
渡辺 太郎

副委員長
田村みどり

上田 澄子

藤森 弘

ICT推進部会

部会長
今井 康善



タブレットの導入で
DX化と議会機能の強化

副部会長
丸山 善行

議会改革検討委員会

委員長
田村みどり



将来を見据えた議会の
あるべき姿を熟考する

副委員長
宇野 香二

3 常任委員会 各分野で審査、調査、研究等に取り組みます



総務委員会

総務委員会は企画政策、総務、会計、教育関係と選挙管理委員会を所管としています。今回の改選で委員長はじめメンバーの半分(3名)が初めて総務委員になったことでフレッシュな視点で取組んでいきたいと思ひます。



土橋 学



吉田 浩



副委員長
花岡健一郎



委員長
中島 秀明



上田 澄子



今井 浩一



社会委員会

委員長という任務ははじめての事です。健康、福祉、環境、市民病院に関わる委員会です。各委員と力を合わせて市民との交流を深め、活発な委員会活動を展開していきます。



小松 壮



秋山 良治



副委員長
宇野 香二



委員長
早出すみ子



田村みどり



酒井 和彦



産業建設委員会

市民の暮らしを支える住宅やテナントなどのインフラ整備に加え、自然や地域資源を生かした新産業の創造にも力を注ぎ、中小企業誘致や若者や女性に選ばれるまちづくり等の提言に向け全力で取り組んでまいります。



渡辺 太郎



笠原征三郎



委員長
藤森 弘



副委員長
丸山 善行



今井 康善



山崎 仁

ズバリ！ 市政に問う！

令和7年第3回定例会(6月)
ダイジェスト版

質問	議員名	ページ
基金における債券の含み損の把握は？	宇野 香二	4
県道諏訪辰野線と旧道との交差点の安全対策は？	田村 みどり	5
失語症当事者が文化芸術を通じて社会とつながる安心安全な場所が必要では？	今井 浩一	5
にぎわいのまちづくりは、商業の活性化が必要だ。現状と課題は？	花岡 健一郎	6
区と市の係わりは？	中島 秀明	6
諏訪湖スマート IC の総事業費は？	渡辺 太郎	7
今後はどのような「地域の姿」「地域の在り方」を目指すのか？	秋山 良治	7
診療報酬改定による岡谷市民病院の経営は？	早出 すみ子	10
異常な物価高下での暮らしをどう捉えているか	笠原 征三郎	10
市の温暖化防止の取り組みと昨年度の主な見直し点は？	上田 澄子	11
スポーツを通じた地域活性化策は？	丸山 善行	11
岡谷駅前広場の利便性と安全性の向上は？	土橋 学	12
政策提言「公共施設のあり方」の取組状況は？	今井 康善	12
市が考える子どものウェルビーイングとは？	酒井 和彦	13
働く女性の子育てとの両立支援体制の現状は？	藤森 弘	13

一般質問

●議員が、執行機関である市に対して、事務の執行状況や将来への方針などについて考えや意見を聞き、報告、説明を求めたり、質問をすることです。年 4 回の定例会において行われ、議員活動の根幹をなすものといえます。

●質問順は“くじ”で決めています。

※なお、掲載内容は、質問者の文責によるものです。

岡谷市公式チャンネル

各議員の QR コードから一般質問の録画映像を見ることができます。スマートフォン等からアクセスしてご覧ください。



A 市民、事業者、行政が連携・協

Q 第5次岡谷市環境基本計画による施策の展開で2050年ゼロカーボンシティの実現が可能か？

ゼロカーボンの推進

最大化を図っていく。

A 金利上昇も踏まえ効率的な運用に努めると共に、財政状況や資金状況を勘案し、安全性と流動性を確保した上で、預金や債券で運用収益の最大化を図っていく。

Q 資金需要や金融情勢等を踏まえて今後の運用方針は？

A 6月1日現在、約52億3千万円が市内金融機関の預金、約6億8千万円が債券運用、約8億6千万円が一般会計への一時繰入金。最も確実かつ有利な方法により「の規定に基づき運用している。

Q 基金として保有している現金、預金、有価証券の内訳は？



宇野 香二



基金における債券の含み損の把握は？
時価等を確認する中でリスク管理を行っている。金利上昇により償還日前に売却した場合、損失が出る事は承知している。満期保有を原則に確実に元本を回収する。

力し、本計画に掲げた各施策を着実に推進できれば実現は不可能ではないと考える。そのために2030年度の目標達成に向け、市民や事業者と共に全力で取り組む。

ジェンダー平等の推進

Q 第7次岡谷市男女共同参画計画の市職員の管理職に占める女性目標値15%は低すぎないか？

A 数値とは別にこの目標値を新たに取組の目標指標とする事で、女性活躍の推進への意識啓発を目的とする指標として設定した。今年度17.9%で目標達成しているため今後持続出来る様取り組む。

Q 審議会等への女性の積極的な登用について市長の決意は？

A 誰もが性別に関係なく互いに認め合い、共に輝くことの出来る社会の実現のため、本計画の目標を達成出来るよう、積極的に努めていきたいと考えている。



男女共同参画の推進



Q 県道諏訪辰野線と旧道との交差点の安全対策は？

カラー舗装やスピード抑制のためラバーポールの設置のほか、注意喚起のための路面表示や看板設置など、様々な対策を講じることを確認している。なお、対策工事は県諏訪建設事務所で施工。



田村みどり



Q 諏訪湖スマートインターチェンジ開通において、県道諏訪辰野線の有賀峠への延伸について市の考えは？

A 開通日に、県道岡谷茅野線から諏訪市の上り線アプローチ道路までの区間が開通。その先の有賀峠までの延伸については、完成時期は未定であるが、引き続き、県諏訪建設事務所で整備を進める。有賀峠への早期の延伸は、諏訪湖スマートインターチェンジの整備効果を最大限活かすため、岡谷、諏訪の両市においても早期整備を強く要望している。

新設「DX推進室」について

Q 行政機関でのDX推進は、企業感覚でのDX推進とは少し異なると思えるが、本市において推進する必要性は？

A 全国の地方都市と同様に、急速に進む人口減少・少子高齢化、それ

に伴う人手不足の深刻化も見込まれる中、健全財政の堅持、住民ニーズの多様化といった社会問題に対し、効率的かつ住民に優しい行政運営を継続していくため、デジタル技術や生成AI等の積極的活用により業務効率化を図らねばならない。また、デジタル技術とデータの活用によって現在の仕事の在り方や仕組みを根本的に改革し、人でなければサービスの提供ができない分野へ重点的に職員を配置し、より質の高い価値創出を実現することである。

Q ゴミの現状について
政と事業者との連携をどのように図っていくのか？

A ごみ減量を通じたゼロカーボン推進には、事業者との連携は不可欠であり、自治体と民間企業それぞれの強みを生かした連携協定を積極的に進め、資源循環型社会の実現を加速させたい。



安全第一



Q 失語症当事者が文化芸術を通じて社会とつながる安心安全な場所が必要では？

意思疎通が図れないもどかしさから不安定になったり、社会参加に消極的になる方もいると聞く。文化活動の力は、言語の訓練につながり、生活の質の向上につながると考える。



今井 浩一



Q 岡谷市における失語症当事者の状況は？

A 全国では30万人から50万人と推計され、9割が脳梗塞や脳出血などの脳血管障害が原因と言われている。また世代も20代から高齢まで幅広い。言葉を使う活動が難しいため、生活の質にも影響すると考えられている。しかし外見からはわかりにくいいため、周囲の理解を得ることが難しく、人数の把握はできていない。

Q 長野県「失語症者向け意思疎通支援者養成研修事業」とは？

A 失語症者が暮らしやすい社会を実現するため、専門性の高い意思疎通支援者の養成及び派遣を目的に厚生労働省が開始した事業。平成30年度から一般社団法人長野県言語聴覚士会に委託、本年度からは広域派遣

がスタートし実際の支援が始まっている。

Q 岡谷市の取り組みは？

A 岡谷市と岡谷市社会福祉協議会が連携し、本年1月に、「障害について理解するための学習会」を開催。失語症がテーマのドキュメンタリー映画「言葉のぎずな」上映及び長野失語症友の会代表者による講演を行った。100名近い方に参加いただき、失語症について知る機会になったと反響があった。また、公益財団法人交通エコロジー・モバリティ財団の「おでかけサポートカード」など、失語症者の生活を支援する取り組みに関する情報収集に努め、必要とする方があれば紹介していきたい。



(岡谷市社会福祉協議会より提供)

にぎわいのまちづくりは、商業の活性化が必要だ。
現状と課題は？

岡谷市の広域商業会は、10の商業会で組織されている。
そのほとんどが、市内の中心部にある。



花岡健一郎



課題について

商業会の活性化が求められていることから、市では「第2次岡谷市商業活性化計画」を策定した。その中で、会員の高齢化や廃業。商業会施設の維持。組織の担い手不足などが課題。

商業会の支援策は？

各商業会は、地元地域と関わりのあるお祭りや、夏祭りなど、季節に合わせた販売促進につながるイベントの開催の支援として、岡谷市商業等振興補助金交付要綱により、岡谷TMOを通じて補助金が交付される。

岡谷まつね祭について

祭の内容は？

新屋敷区、長塚稻荷、女狐。岡谷区、お福稲荷の狐とが挙式。土地の安穩、商売繁盛を祈願する祭り。令和6年は、童画館通り商業会、いとまち商業会、イルフラプラザ店舗会、

レイクウォーク岡谷など周辺を回遊できたイベントを行い、にぎわいの祭りを行った。

岡谷TMOの現状と課題は？

現状については、平成17年度に策定された岡谷TMO構想において、「意欲ある事業者や地域の参加を促し、自らの発意で具体的な活性化の取り組みを展開していくための道筋や仕組みづくり」を目標に掲げ、平成18年度以降、各種イベントやお祭りなどのソフト事業を中心に活動している。

課題については、構想を策定して以降、中心市街地を取り巻く環境が大きく変化。現状に合わせ活動理念を①時代に即した新しい事業が生まれること②中心市街地活性化に必要な人材の確保・育成③居心地が良く歩きたくなるまちづくり、と定め中心市街地の情報把握と活用、まちづくり人材の育成、賑わい拠点の整備中心市街地イベントの実施支援や補助金交付事務等を行っている。



区と市の係わりは？

市内21区は地域の自治団体として自主的な運営をしている。



中島 秀明



21区の状況と市の係わりは？

区の加入率は、現在77.8%で、減少傾向にある。内12区は市長の認可による認可地縁団体で区への配布物等は区長会で協議の上でお願いしており、情報共有と共に区の要望を聞く等の対応もしている。区長等の区役員は市の行政事務嘱託員として委嘱して区と行政の橋渡しをお願いしている他、区へは市から行政事務交付金として一般分12,350万円、地域福祉活動等に583万円を交付している。

区と市の今後の係わりかたは？

区は、地域住民の最も身近な自治組織で本市のまちづくりに重要な役割を担っており、区の課題も認識する中で区長会と連携して取組や課題解決に向けて相談をしながら支援をしていく。また、区への行政事務

交付金は見直し時期であり、その一般分は平成22年に決めた現行の交付額を基本に区長会の意向を確認して決めていく。

要望・地域コミュニティの振興を区と連携して推進していく地域コミュニティ課の様な体制の構築。

放課後子ども居場所づくり

子ども居場所づくり事業とは？

市内の全小学校で教室等を使用し、コーディネータを中心に趣向を凝らした取組を行うことで子ども達が安心して過ごせると共に地域の人達の生きがいづくりの場所となっている。多くの子ども達の参加で人気があがる、事業の担い手の高齢化や新しい人材の確保が難しく、運営上での課題になっている。



区による絆づくり

Q 諏訪湖スマートICの総事業費は？

A 当初計画では概算工事費として、岡谷市、諏訪市、NEXCO 中日本の3者で、約50億円を想定。現在も諏訪市で工事を施工中なので現時点では総事業費を示すことはできない。



渡辺 太郎



Q スマートICは諏訪湖サイクリングロードの玄関口としても重要な役割と相乗効果が期待されているが観光振興の取り組みは？

A 観光客数は令和10年度に50万人を目標。本年度は、岡谷市観光協会で「諏訪湖サイクリングロード活用推進事業」に取り組む。

Q 産業建設委員会でも提言したサイクルツーリズムの現状と課題は？

A 自転車を活用した観光客が増加している。課題は安心して周遊できる環境が必要。今後は、民間事業者による取組に期待している。

Q スマートIC周辺の土地利用の現状と道の駅など岡谷ブランド施設等の整備の可能性は？

A 主に山林や耕作地が広がっており、いずれも民有地。立地条件や一定の交通量が見込まれることから、企業の進出や民間による誘客施設等

の可能性も考えられ、開通後の状況等を注視していく。

地方創生伴走支援の推進

Q 地方創生2.0に「若者・女性にも選ばれる地方(楽しい地方)」をつくる」とあるが人口減少が著しい岡谷市の最重要課題の一つではないか？

A 若者や女性に選ばれるまちをつくることは少子化対策や生産年齢人口の確保のため、非常に重要なテーマと考えている。総力を挙げて取り組んでいる。

防災・減災対策の推進

Q 避難行動要支援者の対策とタイムラインの活用の取り組みは？

A 登録申請率の向上に努めている。個別計画の策定率は最小値4%、最大値が100%、平均48%。地域によつて大きな差がある。実効性のある流域タイムラインの作成を計画的に進めていきたい。マイタイムラインの活用も検討を深める。



武井武雄(昔自転車)
版画蔵書 1962年
岡谷市/イルフ美術館

Q 今後はどのような「地域の姿」「地域の在り方」を目指すのか？

A 本市でも、人口減少は進行すると見込まれる。第5次岡谷市総合計画の将来都市像「人結び夢と希望を紡ぐたくましいまち岡谷」の実現を目指し各種事業を展開する。



秋山 良治



令和の米騒動について

Q 米の価格高騰等、市民生活への影響認識は？

A 市民生活を取り巻く環境は厳しさを増しているものと認識。

Q 学校給食に必要な量のお米や価格への影響は？

A 諏訪地域の取引業者と年間単価契約を締結している。各校が年3回に分けて必要量を報告すること、安定的に米を確保。現時点で供給に支障はないが、米価が前年度比で約26%増となった。給食費の2割を公費負担としたことで保護者への影響も生じない対応を行った。来年度の価格については改めて協議を行う予定。

Q 米飯の回数・量は継続していく方針なのか？

A 平成24年度より週3回の米飯給食を実施。引き続き、週3回の米飯給食を継続していく。

Q 現在の給食内容維持の工夫や取り組みは？

A 旬で安価な食材の活用、地場産農作物の積極的な調達、市内小中学校の共同購入制度の活用、手作りや食材の選定により食材費を抑制。学校給食の質と量の維持に努めている。

Q 学校での米作りについては？

A 小学5年生の社会科「日本の農業」の体験的な学習と地域との交流を通じてふるさとへの愛着を育むことを目的に米作り体験を実施。農業体験を通し、子どもたちの感性や豊かな心を育むと共に、地域とのつながりを実感し、ふるさとの魅力を再確認する貴重な機会となっている。今後も大切にしたいと考えている。



友達とたのしく田植えの
農業体験

市議会では、令和6年12月に岡谷駅周辺整備特別委員会、川岸学園整備特別委員会を設置して以来、それぞれの事業について、調査、研究、意見聴取、検討等をしてきております。これからの岡谷市にとりまして大変大きな事業であります。令和7年5月に委員長以下、人員が変更になりましたが、引き続き適宜適切な調査、対応等行ってまいります。

岡谷駅周辺整備特別委員会



本委員会は、ララオカヤの解体や岡谷駅周辺の整備計画に関して、直面する課題や将来像についての意見交換を活性化させ、調査、研究等を行うため設置されました。

これまで、コンサルタントに委託していた「岡谷駅周辺整備検討調査」の結果について、担当課から報告等を受けるなど、委員会を計4回開催し、意見交換を重ねてきました。

6月には、将来ビジョンの策定に向けた「オカヤ駅から未来プロジェクト」や、岡谷商工会議所と連携した市民参加型ワークショップ（以下、WS）の開催等について、まちづくり整備課から説明を受けました。以下は、その主な内容報告です。

委員会での主な質疑等

質疑 WSの内容について

回答 WSには想定を超える約25名10代から幅広い年代、40代が中心の応募があり、空間の活用について、多様なアイデアが出されることを期待している。

質疑 今回の事業の範囲について

回答 大枠とすれば、駅南を含む岡谷駅周辺、市役所周辺、湖畔エリアそれぞれの価値の向上、連携も含んだものである。



第1回 オカヤ駅から未来プロジェクト

令和7年5月20日

おかやの未来を駅から一緒につくろう！



委員長
秋山 良治



副委員長
上田 澄子

委員
吉田 浩
小松 壮
宇野 香二
田村 みどり
酒井 和彦
今井 康善
早出 すみ子

令和8年度からララオカヤの解体が始まり、駅前整備が本格化します。人口減少が進む中、市民中心の「まちづくり」が重要となると考え、引き続き調査、研究等続けてまいります。

質疑 市民参画の手法の理由等について

回答 市民の方から多くのアイデアなどが出ることに、場所の価値が高まってくることを見込んでいる。これまでのアンケートの形にとらわれず、個別の情報交換なども実施していく。

質疑 WSの実施内容の周知について

回答 HPのほか出来るだけ色々な方たちへの発信も考えていきたい。

質疑 第1回オカヤ駅から未来プロジェクトで出た意見について

回答 総体的な議論の中で、若者が帰ってこられる魅力が必要、人口減少社会を踏まえて進めていかなくていけない、等の意見があった。

2つの重要事業に 特別委員会を設置!

川岸学園整備特別委員会

「川岸学園整備事業」は、川岸小学校と岡谷西部中学校を統合し、公立の幼保連携型認定こども園を併設する形で進められています。

特別委員会は、市が「川岸学園設立準備委員会」のもとに設置された6つの部会（学校デザイン、学校生活、総務、地域・PTA、施設、こども園）の議論内容等について報告を受け、意見交換を行いました。

6つの部会では、学年の捉え方、給食室等への導線など児童・生徒の学校生活面、仮設校舎の冷暖房や仮設工事期間中の安全対策、制服、部活動の地域移行と合わせた実施方法、校名や校歌、PTAや地域コミュニティ等、多岐にわたる議論が交わされてきたようです。

それらと並行し、特別委員会では設計内容をより具体的に把握するため、川岸小の現地視察を行い、図面では分かりづらかった立体的な校舎構成や教室の配置を確認しました。



今後の委員会の取り組み

「川岸学園整備事業」では今年度、仮設校舎の建築工事等がスタートします。そして学校運営に関わるソフト面の計画も重要な検討課題となります。6つの部会は保護者や地域の方々等によって進められておりますが、児童・生徒、保護者、地域の方々等の様々な視点を取り込み、より丁寧な議論が必要とされるはずです。

また全国的に教育現場は今、様々な課題を抱え、多様なあり方等の柔軟な対応が求められています。このような状況を背景に、市教育委員会では県のウェルビーイング実践校TOCCOITION（トコトン）の指定を受け、幼保小中がつながる学び舎の創出をめざす学園化の構想等、積極的

に取り組みを進めようとしています。この学園化構想、つまり将来の岡谷市の教育構想にとつて期待感にあふれる事業において、まさに川岸学園は新たなモデルとなる位置づけです。

市議会では、引き続き、透明性と参加性を重視し、また社会の変化、現状をしっかりと捉え、先進事例の視察や研究を行う等、引き続き透明性と現場からの多角的な視点を重視したチェック機能を発揮し、将来の岡谷市の教育にとりましてプラスとなるように、努力していきたいと思っています。

あなたらしく、岡谷らしく、新しく



委員長
今井 浩一

副委員長
笠原征三郎

委員

土橋 学
花岡 健一郎
山崎 仁
藤森 弘
丸山 善行
渡辺 太郎
中島 秀明

川岸学園は将来の岡谷の教育構想にとつてワクワクするものと考えています。不登校をはじめ様々な課題を抱え、多様なあり方が求められている公教育。私たちに執行権はありませんが、そのぶん自由に、公教育に留まらず知見を広げ、提言をしたいと考えています。

Q

診療報酬改定による岡谷市民病院の経営は？

A

診療報酬全体では0.12%のマイナス改定である。人件費や材料費、水光熱費などの増加を上回る収入増には至っていない。

令和7年度の病院経営は非常に厳しくなると見込んでいる。



早出すみ子



Q 物価高騰に伴う影響は？

A 材料費94%の薬品費及び診療材料費は製造コストが高騰し、定価は引き下げられている。物価高騰に伴う支出は病院経営を圧迫する大きな要因である。

Q 人件費の上昇に伴う影響は？

A 約1億5千万円が病院の負担である。

Q 国、県への要望は？

A 全国自治体病院協議会に経営支援を要望している。市長からも国、県に要望している。

要望…診療報酬の期中改定を国に求める。

ヤングケアラーへの支援は？

Q 市の取り組みは？

A 「子ども家庭センターに相談窓口があり、コーディネートを活用したケース会議により支援する。

Q 新規事業は？

A 「子育てファミリー訪問支援事業」で家事や育児の支援。「トワイライトステイ事業」で児童を夜間や休日に預けられる。

Q 今年度の県の調査概要は？

A 高校生、大学生、短大生、高校中退者が対象。7月に委託先を決める。

Q 市独自の調査は？

A 定期的なアンケートの実施。要望…条例制定を。

区の公会所などのLED化

A LED化促進事業は令和7年度まで公会所150万円、集会所75万円それぞれの3分の1以内の補助率である。8区でLED化は99%実施。今年度集会所8か所予定。

要望…LED化促進事業の継続を。



病院を守れ 地域医療を守れ

Q

異常な物価高下での暮らしをどう捉えているか？

A

令和7年4月の県の物価指数は前年同月比で3.4%上昇しており、44か月連続で前年同月比を上回り、市民生活を取り巻く環境は長期にわたって厳しさを増している。



笠原征三郎



ますます厳しさを増す市民の暮らしを行政として、どう守っていくのか

Q いっそう厳しさを強いられる市民の暮らしを守る施策は？

A 今後については、引き続き、国や県の動向に注視し、物価高が市民生活に与える影響や実情を的確に把握し、適時適切な支援策を講じていく。

Q 基金をあと1億円取り崩し、5千円のプレミアム付き商品券の発行は出来ないか？

A 既に1億円の取り崩しをしているので、これ以上の基金からの追加の取り崩しは出来ない。

マイナ保険証と資格確認書について

Q 従来の健康保険証の更新期をむかえ、岡谷市はどのように「資格確認書」を発行していくのか？

A 7月末に有効期限をむかえる岡谷市国民健康保険については、マイナ保険証を持っている方には「資格情報のお知らせ」持っていない方には「資格確認書」を交付する。

Q 岡谷市国民健康保険のマイナ保険証の利用率と岡谷市民病院での利用率は？

A 令和7年3月で、岡谷市国民健康保険では29.4%。市民病院は18%

今後の小中学校給食費無償化の方向性

Q 令和8年度・9年度の「学校給食費無償化」に向けての方向性は？

A 令和7年2月に、自民・公明・維新の3党が、小学校を前提に令和8年度に給食無償化を実現することで合意している。中学についても速やかに無償化を進める方針が示されている。国に対し「無償化」の早期実現を働きかけていく。





市の温暖化防止の取り組みと昨年度の主な見直し点は？



「第5次岡谷市環境基本計画」に「第2次岡谷市地球温暖化対策実行計画」を統合し、望ましい環境像の変更や、2030年度までの新たなCO2排出削減目標も設定した。



上田 澄子



Q 太陽光発電システムの設置状況と設置補助の充実については？

A 公共施設では10か所、一般住宅ではF-T届け出件数で2,689件。太陽光発電システム導入補助の再開は考えていないが、システムと同時に設置した蓄電池に対しては補助している。増額は考えていない。要望：温暖化に関連して、高齢者や低所得者世帯へのエアコン設置補助を検討していただきたい。

生活保護申請について

Q 申請しても生活保護に至らなかったケースは？

A 一定程度を超える預貯金があったことや保護の基準に該当しなかったことによる。

Q 「生活保護は国民の権利です」等のポスター掲示など申請を受けやすい環境整備は？

A ポスターなどは考えていないが市民への周知を徹底し、税の支払い相談者など生活保護が必要と思われる方を支援につなげている。

「人生会議」ACPの取り組みについて

Q 市民への周知の状況と、市の現在の取り組み、市民病院でのエンディングノートの利用状況は？

A 市の令和4年調査では「知っている」は7%。市では「認知症あんしんガイド」「介護保険なんでも読本」にも人生会議を掲載し、セミナーなども開催している。はっきりした統計はないが市民病院の入院患者での利用は年に一人から二人程度。

Q 人生会議やエンディングノートの今後の取り組みは？

A もしもの時のため自分が望む医療やケアを前もって決め、周りに伝えておくことが大事。さらに広く「終活」と捉えて支援していく。

要望：「エンディングノート」等を冷蔵庫へ保管できる賞状入

れ筒の配布を検討していただきたい。



「人生会議」の周知を



スポーツを通じた地域活性化策は？



令和6年度からVC長野トライデントと相互連携協定を締結し、ホームゲームや練習拠点として市民総合体育館を使用。本市のPR、市主催イベントへの選手派遣等を実施。



丸山 善行



Q VC長野トライデントの利用状況は？

A ホームゲームは昨年度8試合で観客動員数は1試合あたり1,400人ほど、練習は昨年度18回の利用。

Q スポーツツーリズムについて市の考えは？

A 第3次岡谷市スポーツ推進計画においても観光とスポーツを組み合わせ、地域活性化を推進することとしている。特にVC長野トライデントとの相互連携協定の締結は大きなチャンスであるので、スポーツを起爆剤とし、岡谷市の魅力発信、交流人口の増加や地域経済の活性化に繋げてまいりたい。

ふるさと納税の現状

Q 寄附額及び主な使途は？

A 返礼品額は年々増加傾向で、昨年度が約1億6,700万円の5,423件、寄附金の使途は寄附者

の意向にあった事業に利用している。主な事業は旧岡谷市役所庁舎保全事業に使わせていただいている。

Q 職員への研修や情報共有体制の強化は？

A 研修への積極的な参加や、国及び県からの情報提供を確実に収集し、制度へ理解を深め、適切な業務対応を進める。また、中間事業者及び返礼品取扱事業者に対しても、職員複数人体制で連携し情報共有を進める。

松くい虫被害の現状

Q 本市の被害状況は？

A 令和4年度枯損木・伐倒が23本、令和5年度が枯損木・伐倒が28本、令和6年度が枯損木21本・伐倒15本。

Q 松くい虫被害が疑われる木が発見された場合の対応・課題は？

A 森林所有者に状況説明した上で燻蒸処理を行う。課題は所有者の特定に時間がかかることや、急傾斜地では重機が使用できないため人力での対応で作業効率が悪い。



スポーツで地域を活性化！

岡谷駅前広場の利便性と安全性の向上は？

混雑や無断駐車が課題であり、市は誘導強化や看板設置など安全対策を進めている。



土橋 学



Q 自家用車整理場から駅舎までの横断歩道設置は？

A 駅前の道路は構内道路のため、公安委員会による横断歩道設置の対象ではない。

しかしながら、子どもから高齢者まで幅広い世代が利用する駅前広場の安全確保は重要。

今後、徐行の励行、注意喚起の表示灯や案内板の設置、視認性の高い舗装による工夫など、利用者目線の安全対策の強化を図り、安心して通行できる環境づくりに努める。

市民病院の駐車場管理

Q 障がい者用駐車場の不適切利用や長時間駐車への対応は？

A 障がい者や体調不良の方のために設けた専用スペースは、職員や警察OBによる定期巡回で管理。利用実態を把握し、不適切利用には

適切な対応を行うとともに、必要な表示改善にも取り組んでいる。

また、寄せられた声には真摯に向き合い、丁寧に説明する姿勢を大切にしている。

今後も誰もが安心して利用できる環境を整えるため、継続的な見直しを行ってまいりたい。

高齢者の移動支援体制

Q 移動支援策の現状と課題は？

A シルキーバス、福祉タクシー、地域支え合い型事業を通じ、通院や買い物足の確保している。

免許返納者への支援や高齢者クラブとの連携、出前講座を実施し、利用促進と担い手の育成に注力。

利用者アンケートや現場調査を重ね、制度の見直しや広報の工夫など、さらなる改善に取り組んでいる。



政策提言「公共施設のあり方」の取組状況は？

国が示す指針に基づきながら、平成二十年に策定した「岡谷市の公共施設のあり方方針」を踏まえ「公共施設等総合管理計画」及び「公共施設個別施設計画」を策定し、取り組みを進めている。



今井 康善



Q インフラを除く公共施設のうち学校施設が3割占めている。支所・公民館の公民館機能を重視しつつ学校施設との複合化で地域コミュニティ拠点として再編する可能性についてどう考えるか？

A 施設の複合化や集約化については、施設の利用実態や適正規模、機能の必要性など多角的な視点から慎重に見極める必要がある。

Q 学校水泳プールの市民水泳プール等への集約化と、水泳指導の民間委託への考えは？

A 「岡谷市魅力と活力ある学校づくり推進プラン」のハード整備版で、学校プールについては今後、大規模な修繕が必要になった時に、市民水泳プールへ切り替えていくことを基本としている。水泳指導については、よりよい水泳授業の実現に向けて、他自治体を参考に調査・研究を進めていく。

将来ビジョンの一例



岡谷まちなか未来図(岡谷商工会議所)

Q 政策提言では、市民サービスの向上と財政健全化の両立を目指す3つの基本方針を掲げている。複合化、多機能化を推進するには、全体像や将来ビジョンを描くことが必要と考えるが市の考えは？

A 「人口減少と市民ニーズの変化への対応」「民間ノウハウの活用」「市民意見の聴取」は大変重要な要素である。今後はエリア価値向上に向けた協議を重ねていくなかで、まちづくりの視点による公共施設配置のあり方についても研究をかさねていく。

Q 市が考える子どものウェルビーイングとは？

A 身体的・精神的・社会的に良い状態にあり幸せが続くこと。第3期岡谷市教育大綱の中でも子どもたちの有用感に満たされた幸せの実現として意味を反映。



酒井 和彦



Q 子どもたちが社会的に満たされる状態とは？

A 子どもたちが主体的に取り組める環境やお互いを認めあえる環境によって高まった自己有用感や自己肯定感や、地域社会との繋がりの充実。

Q 義務教育学校化や小中一貫校化、さらにTOCOTONの実践をどうウェルビーイングに結び付けていくのか？

A 今年度は準備期間ということですが明確なビジョンはなく、県から派遣された指導主事の先生と一緒に取り組んでいく予定。

シルクブランド推進について

Q 岡谷シルクブランド認証制度の概要と認証状況は？

A 認証製品は岡谷産の繭の使用状況などにより4つの類型基準に分類。第

1 類型の商品は6件、第2は50件、第3は24件、第4は89件の商品やサービスが認証。

Q 岡谷シルクブランド認証製品の展開は？

A 蚕糸博物館での販売や、地元企業や団体・養蚕農家・金融機関等で組織する岡谷シルクブランド協議会と連携協力し、取り組んでいる。今後も全国の展示会に出展やウェブでのPRを行い、地域の魅力向上につなげたい。

Q 国内外の新しい事業者へのアプローチは？

A ウェブでの発信やイベントの出展などできっかけ作りに努めている。海外は今年7月にパリで開催のジャパンエキスポにて展示販売を予定。



国内外に広まる
岡谷のシルク

Q 働く女性の子育てとの両立支援体制の現状は？

A 月48時間以上就労している保護者は保育園などに子供を預けることができ、月120時間以上就労している場合は、午前7時30分から午後6時30分まで預けることができる。



藤森 弘



Q 特定ニーズへの対応が不十分ではないのか？

A 長時間保育の利用者数は増加傾向にあるが、保育士や保育補助員を確保して保護者ニーズに対応している。病児・病後児保育や休日保育についてもお断りすることなく対応している。本年度から新たに平日の夜間や休日に子供を預かるトワイライストステイ事業を加え、子育て支援の拡充を図った。

Q 非正規雇用で働く女性の実態について把握しているのか？

A 派遣社員やパート・アルバイトなど非正規雇用者は、女性の全就業者数の43.5%となっている。

Q 出産・介護による離職後の再就職支援は？

A 「再就職支援セミナー」を年2回開催。直接企業担当者と面談する「ミニ就職説明会」も併せて

開催して、総合的なサポートを実施している。

Q 国籍別の居住者数は？

A 令和7年1月1日現在、フィリピン国籍の方が220人、ベトナムが146人、インドネシアが145人、中国が113人、ブラジルが109人となっている。

Q 在留資格別内訳は？

A 永住者が267人、技能実習生は234人、定住者は96人、日本人配偶者は74人となっている。

Q 外国籍児童等への対応は？

A 13の言語の翻訳に対応できるアプリで家庭への連絡に対応している。必要に応じて、国際交流センターの「外国籍児童生徒支援相談員」に通訳に入ってもらうなど、「コミュニケーション」が確実かつ円滑にできるよう対応しサポートしている。



働く女性の子育て支援

令和7年第3回定例会

(主な議案の審査結果)

令和7年6月13日から6月25日までの13日間の会期で開かれ、報告案件3件、議案18件等が審議されました。主な審議結果は次のとおりです。

◆**議案第45号** 令和7年度岡谷市一般会計補正予算（おかや生活応援プレミアム付商品券による生活応援事業 2億3百万円）産業建設委員会等に審査付託。本事業による地元中小事業者への効果等の考えについて審査付託事項あり。

◆産業建設委員会での主な質疑等

付託内容について、市側より、令和5年に実施した際には、中小の事業者においても多く利用されており、9割の事業者から参加してよかったとの声をいただいている。また、今回は、商品券事業ということで市民の生活応援と地元商業等の活性化につながるものであり、商業会等により工夫が図られることも考えられ、効果は大きい、とのことであった。

◆主な討論

以前実施したプレミアム率には及ばないことや、実施時期が遅くなってしまうと感じるため、本議案には反対する。

一方、限られた国からの交付金の中で、市の基金から約1億円を繰り入れ、

前回までには、プレミアム率が届かないながらも、30%ということで、長引く景気低迷や物価高騰の中で、大きな物価高騰対策につながるから、本議案に賛成する。

さらに、本事業は、生活応援という面と商業等の活性化のほか、経済効果に期待ができる。小規模事業者にとつてさらに効果的な事業となる工夫をするよう検討することを要望し賛成する。

※質疑討論の後、採決が行われ、産業建設委員会において賛成多数で可決。

本会議において議案の審議

※採決により本議案は、賛成多数により可決されました。

◆議案第46号 市立岡谷美術考古館

条例の一部を改正する条例

本会議での議案説明

市立岡谷美術考古館への指定管理者制度の導入に向け、市立岡谷美術考古館の管理・運営等を指定管理者に行わせる旨の規定を追加するものである。

総務委員会に審査付託。あわせて、公募又は任意指定かの選定方法を決めるプロセスについて、また、「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」の規定と指定管理者制度の導入に伴う運営上の配慮についての審査を深めるよう付託事項あり。

◆総務委員会での主な質疑等

公募か任意指定かのプロセスについては、岡谷市指定管理者制度に関するガイドラインに基づき、施設の特性などを踏まえ要件に該当する場合において、任意指定ができることから、岡谷市行政改革推進本部会議において決定する。またハード面、ソフト面共に安全を確保しながら安心して鑑賞できる環境の整備にも努めている。

今後は、音声や点字を活用した作品案内の充実によるアクセシビリティ向上への取り組み、福祉や教育機関と連携した障害がある方を対象としたワークショップの開催等、様々な事業が考えられ、法令や「第7次岡谷市生涯学習推進計画」の規定等に沿って、指定管理者と協議しながら、取り組みを進める、とのことであった。

※質疑討論の後、採決が行われ、委員会では全会一致で可決。

本会議において議案の審議

※採決により本議案は、全会一致により可決されました。

◆議案第47号

「岡谷市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び岡谷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例」

◆社会委員会での主な質疑等

今回の内閣府令の条例改正に伴う、岡谷市の改正の影響について質疑があり、就労時間の経過措置については、岡谷市は今回の改定には影響がない。

また、市内の該当する施設について質疑があり、「きらり岡谷市民病院園」のみが該当し、聖ヨゼフ保育園岡谷と連携協定を締結しているが、連携協力項目のうち、「卒園後の受け皿としての支援」については締結されていないため、引き続き経過措置（5年間）の間に働きかけを行ってまいりたい、とのことであった。

※質疑討論の後、採決が行われ、委員会では全会一致で可決。

本会議において議案の審議

※採決により本議案は、賛成多数により可決されました。

◆請願第6号

「岡谷市議会議員の定数の現状維持を求める請願」

議会運営委員会に審査付託され、提出者の意見陳述を行い、「不採択」すべきものと決定。

※のちに、本会議において賛成少数により不採択。

◆請願内容

今回の岡谷市議会議員選挙においても、現在の18人の議員定数で行うこと。

◆議会運営委員会の主な討論

この請願は、議員の権利を守る観点からは、大変感謝すべき内容であるが、人

□減少が進むことや、議員定数のアンケート結果から、定数削減はやむを得ないことである。市民とのパイプ役という議員の役割は大変重要であるが、定数が削減されても、議員が身近に感じられるよう、今後、体制整備やシステムの構築に対する議論を進めたい。

また、この請願は、前回採択された定数削減の請願に相反する内容であり、提案理由は既に十分議論されている。それぞれの議論を経た上で本会議にて採択されたものと理解しており、本請願に反対すべき、との意見があった。

一方、議会制民主主義を発揮する上で、議員を減らすことは逆行する。議員は市政に対するチェック機能の役割とともに、市民の代表として民意、意見要望を市政や議会に届け反映させるといった重要な役割がある。定数を削減すること、行政とのなれ合い問題や議会審議の空洞化に加え、若年層や女性などが難しくなる。また、議会の構成や、議会が停滞するなど数々の懸念がある。人数的にも財政的にも問題ないとの認識から、本請願に賛成すべきである、との意見があった。

本会議において請願の審議

※採決により本請願は、賛成少数により不採択とすべきものと決定しました。

○令和7年第3回定例会（全会一致で可決等された議案等）

議案番号	件名	議案番号	件名
報告第9号	令和6年度岡谷市一般会計繰越明許費繰越計算書について	議案第48号	岡谷市岡谷駅前広場等条例の一部を改正する条例
報告第10号	令和6年度岡谷市水道事業会計予算繰越計算書について	議案第49号	岡谷市水道事業給水条例及び岡谷市下水道条例の一部を改正する条例
報告第11号	令和6年度岡谷市下水道事業会計予算繰越計算書について	議案第50号	令和7年度岡谷市一般会計補正予算（第2号）
議案第41号	工事請負契約について	議案第51号	岡谷市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
議案第42号	工事請負契約について	議案第52号	令和7年度岡谷市一般会計補正予算（第3号）
議案第43号	工事請負契約について	議案第54号	義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書
議案第44号	工事請負契約について	議案第55号	さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保を求める意見書
議案第46号	市立岡谷美術考古館条例の一部を改正する条例	議案第56号	「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書
議案第47号	岡谷市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び岡谷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	議案第57号	地域医療を守る医療機関に対して、事業と経営維持のため、診療報酬の期中改定を求める意見書
		議案第58号	米の安定供給を求める意見書

○令和7年第3回定例会（賛否が分かれた議案等及び議員の採決態度一覧）

議案番号	件名	議決結果	吉田浩	秋山良治	土橋学	花岡健一郎	小松壮	山崎仁	藤森弘	宇野香二	田村みどり	丸山善行	上田澄子	酒井和彦	今井浩一	渡辺太郎	今井康善	中島秀明	笠原征三郎	早出すみ子
議案第45号	令和7年度岡谷市一般会計補正予算（第1号）	原案可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×
請願第6号	岡谷市議会議員の定数の現状維持を求める請願	不採択	議長	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○
議案第53号	岡谷市議会の議員の定数に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	議長	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×

編集後記

この委員会も新たな委員でスタートしました。議会の動きをしつかりとお伝えするこの広報の発行はもとより、時代の変化に応じた広報、広聴活動も検討しながら、議員を身近に感じてもらえるよう取り組みを進めます。お気軽に皆様のご意見等お寄せいただければ幸いです。

（山崎 仁）

ご意見・ご要望

市議会だよりについてご意見
ご要望を受け付けています。

連絡先

岡谷市議会事務局
TEL: 23-4811 (内) 1711
FAX: 22-6213

メール

gikai@city.okaya.lg.jp

広報広聴委員会

委員長 山崎 仁
副委員長 今井 浩一
委員 中島 秀明
委員 早出すみ子
委員 藤森 弘
委員 小松 壮
委員 丸山 善行

古きを温ねて新しきを知る

岡谷市
今昔物語

みんなと歩んだ100年



中央町付近の街並み

シルクから精密工業地域へと転換そして現代へ、多くの人々が行きかった商いのひとつの中心地である。明治18年に岡谷市銀座で小間物店として小口商店を開業したカネジョウが岡谷市中央町に移転し、新店舗を構えたのは昭和39年のこと。(写真左) きつね祭りは岡谷の大きなイベントの一つで、多くの人々が楽しんでいる様子が伺えます。現在この区画には多数の店舗が店を構え市民の方々が利用しています。



写真提供：カネジョウ

岡谷市議会の議員定数が18人から16人に決定

この条例は次の一般選挙の告示日から施行(適用)されます。

◆議案第53号

岡谷市議会の議員の定数に関する
条例の一部を改正する条例

経過

6月25日、議員提案により本会議に上程。賛成多数で可決。
本会議においては、委員会付託を求める動議が出されたが、賛成少数で否決となった。

本議案での主な論点

- ・定数を削減することにより、多様な市民意見等の反映がしにくくなるのではないか。
- ・本市における人口減少の状況と定数削減の関係性について、どのように捉えるか。

本議案に対する主な討論

反対

- ・この議案については、これまでの経過を踏まえて、議論をさらに深めるべきと考える。
- ・定数は市民の権利、財産であり、簡単に削減すべきではない。人口の減少は削減の理由にはならない。定数削減は、なり手不足の解消、若年層の進出につながらないと考える。
- ・削減人数や削減後の委員会の体制などについてもっと議論すべきである。

賛成

- ・人口減少傾向は明らかである。議会のこれまでの取り組みの中で把握してきた定数削減を求める市民意見を考慮することは重要である。また、議員の資質向上、議会改革を求める意見等も踏まえる中で、大幅な削減ではなく、議員機能の維持向上につながる限定的な削減である。
- ・2名削減は、本会議での採決、委員会等有効な機能運営を踏まえ妥当と考える。

- ・この議案は、3月に採択された定数削減に関する請願や昨年来の議会の取り組みのまとめとなるものである。慎重な議論には一定の議員数が必要ことは言うまでもないが、削減することによって効率化が図られるとともに緊張感をもった議会運営となる。

※採決により
本議案は、
賛成多数に
より可決。

